



愛媛県
松山市消防局



安全・安心を創造する 予防事務を核とした 「戦略型予防行政」の推進

事例類型 I 実効性向上／II 高度化・専門化／III 効率化／
IV 他団体との連携／VI 広報活動／VII その他

取組期間 平成 28 年 1 月から

背景

組織体制や消防活動などあらゆる側面から、将来の予防行政のあるべき姿について検討する部会を設け、限られた行政資産（人員・予算・物・情報）の中で、如何に予防業務を着実かつ効果的に実施するかを検討し、長期的な執行体制ビジョンを見据えた上で、予防事務を核とした消防総合力の向上に向けた「戦略型予防行政」を推進することとした。

内容

1. ICTを活用した効率的・効果的な予防業務の推進(消防情報モバイルシステム)

システムで管理する防火対象物情報に、モバイル端末から常時アクセスできる環境を整備し、漏れのない予防査察、現地での情報更新や結果通知書等の発行など、査察事務の効率化と高質化を図るとともに、災害現場での隊員の安全管理や迅速・的確な人命検索、現場で発覚した法令違反対象物の違反処理や原因調査及び現場での被害状況の報告や活動報告の処理を行うことが可能となった。

また、職員からの要望を受け、災害危険箇所等の防災情報や「地震火災シミュレータ」（開発・提供：愛媛大学）をモバイルPCに導入し、「震災火災の見える化」などによる防災啓発、南海トラフ巨大地震火災等の防御戦術及び住民避難等の減災対策に活用できるシステム支援体制の整備を行った。

2. 市民・企業に対する防火・防災力向上事業の推進

(1) ゆるキャラグランプリへの参加

消防マスコット「はっぴーカー君」を作製し、様々なイベント参加や、平成28年度、本市で開催された「ゆるキャラグランプリ」に市役所代表としてエントリーし、市民をはじめ多くの皆さんの応援をいただき、「えひめのとっぺんグランプリ（県内1位）」を受賞するなど、柔軟かつ効果的な防火広報を行った。



(2) 高齢者向けの出前講座

民生委員や福祉部局と連携し、病弱又は要介護状態にある一人暮らしの高齢者を最優先にしたピンポイントの訪問計画を作成し、効果的な住宅用火災警報器の設置促進や防火指導を行うとともに、高齢者向けの防火出前講座を実施した。

(3) 自衛消防隊員向けの講習会

大規模災害時における地域企業の役割に着目し、自衛消防隊員の養成を通じて、企業防災力を強化するため、災害時の指揮命令や情報収集活動など、臨場感のある本部活動が体験できるシミュレーター（防災センター相当の専用室）を整備し、実技訓練をカリキュラムに組み込んだ講習会を消防局で独自開催し、質の高い防火・防災リーダーの育成及び機能する自衛消防組織等の育成強化を図った。



3. 広域的関係機関との連携強化の推進

福祉施設及び宿泊施設の申請時に建築・福祉部局との事前協議を行う体制を整備するとともに、県・県警・建築部局・福祉部局と連携した夜間の抜き打ち特別査察や、関係法令違反が併存する施設に対する情報提供や合同査察を実施した。

県内の他本部が抱える予防事務の課題解決のため、他本部からの研修受入れ体制を整備し、2カ月間の実践を重視したOJT実務研修や夜間抜き打ち合同査察への同行など、県内の広域的予防事務の向上と連携強化を図った。



成果

1. ICTを活用した効率的・効果的な予防業務の推進(消防情報モバイルシステム)

当該システム構築後の職員アンケートでは、「査察事務の効率化」（78%）、「査察事務の高質化」（97%）「違反是正に有効に活用できる」（92%）との回答結果が得られた。また、計画的かつ効果的な違反是正を推進することで、職員の意識改革が図られ、命令7件、警告14件、重大違反対象物の違反是正が64件と、過去最高の是正実績を上げることができた。

2. 市民・企業に対する防火・防災力向上事業の推進

消防マスコットを活用した啓発活動や高齢者対策により火災件数等を減少させるとともに、防火・防災リーダーを246名（年間目標200名）育成するなど、企業の防火・防災管理力の底上げと地域の防災力の向上に繋がった。

3. 広域的関係機関との連携強化の推進

当局が主体となって関係機関との連携強化を広域的に推し進めることで、本市の予防事務を核とした幅広い関係機関との連携体制の構築や円滑な情報共有を図ることで、迅速かつ確実な予防行政を推進することができた。

4. まとめ

限られた行政資産を最大限に活用する効果的な仕組みと将来を見据えた執行体制プランを予防から提案し、確立し、発信することで、予防事務を核とした消防総合力向上に向けた攻めの戦略型予防行政の推進、予防行政の重要性の再認識及び予防職員のモチベーションの向上が図られるなど、期待以上の成果を得ることができた。

特記事項

消防情報モバイルシステムは拡張が容易で、将来性と発展性のある事業である。

選考委員のコメント

予防業務を着実かつ効果的に実施するために、多角的な視点から戦略を立てて取り組んでいる点が高く評価される。さらにICTを活用したシステム開発・導入による予防・警防・防災行政の連携と効率化、他機関との連携、県下消防機関からの研修受け入れ体制など、他都市にとっても非常に参考となる多くの取り組みが実施されており、大変素晴らしい事例と言える。